

News of Peace No.25

桜区平和を考える会会報

2020年8月号



学習会

(2020年8月22日 土合公民館)

「沖縄から伝えたい。米軍基地の話。」

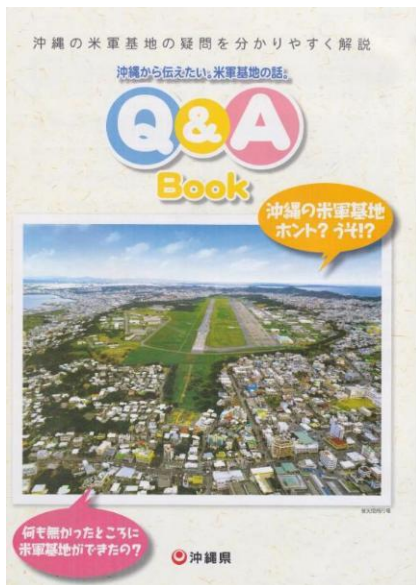
新型コロナウイルスの影響で延び延び 2004年に沖縄国際大学に米軍ヘリ
となっていました。久々の学習会をお が墜落した時は、日本の警察を入れさせ
こないました。出席は5名でしたが、沖 す白い防護服を着た米軍の関係者が調査
縄県発行の「沖縄から伝えたい。米軍基 に当たり、報道規制が布かけられました。こ
地の話。」について意見交換をしました。 れまで、数えきれないほどの沖縄差別が
続いていて、人々を傷つけています。

米軍基地は、沖縄返還までは本土の方
が多くあったのです。しかし、現在は、
沖縄県（日本国土面積の0.6%）に日
本全体の70.6%もの米軍専用基地が
あります。これには、日本本土の米軍基
地の周辺で基地反対闘争が起きると反米
感情を抑えるために、基地を沖縄へ移転
していったという経過があります。

こういった米軍基地の問題も、関心を
持って注目していかないと、良くわから
ないということになってしまいます。

（もくじ）

学習会	1
「沖縄から伝えたい。米軍基地の話。」	
コロナと防衛費	2
WBGTとは	3
切り抜き帳	4
【原発事故処理 見逃せぬ不透明な流用】	
会の活動報告・予定	4



コロナと防衛費

新型コロナウイルスの流行を経験して、日本の社会が持っている問題点が、いくつも明らかになってきました。その中でも経済格差の問題と医療制度の弱さの問題は、私たちの生活に大きな影響があります。

補償が十分でないまま営業の自粛を要請された業種で働いていた人々は、失業や、収入の激減で、生活が脅かされています。突然学校が休校になり子供たちは、学びの上でも、生活の上でも、もろに格差が出る事態におかれています。高校や大学でも、収入が激減した学生が、退学を検討しなければならない状況に追い込まれているそうです。

病院では、防護服、医療用マスクさえ手に入らないままで、コロナの流行に立ち向かわなければなりません。日本はこんなに貧しい国だったのかと衝撃を受けました。

病院の経営が脅かされる事態になり、コロナとの戦いの最前線で働いていた医者や看護師などが収入減という現実にも晒され、拳句は病院の倒産さえ起こっています。

病院関係者に拍手をしたり、ブルー・インパルスを飛ばしている場合ではないのです。

行革の号令の下、減らされ続けてきた保健所は、現在ではPCR検査の集計さえ



追い付かないという状態に陥っています。

人々からはPCR検査を要求する声が上がっていますが、増える動きはさっぱり出てこないまま、経済活動を動かしてしまった結果、全国に感染者が増えてしまいました。しかし、感染防止は自己責任とばかりに、政府は、感染防止の実行を個人に丸投げするばかりです。

そこに飛び出してきたのは、敵地攻撃能力の保有の検討です。国際法違反の先制攻撃につながりかねない今回の唐突な提案。国民の健康や医療を守れない政府が、国防を声高に言い、アメリカから高額な兵器をさらに買おうというのでしょうか。

国防の基本は国民の命を守ることです。

今、政府がやるべきは、国防費をコロナ対策に向けることです。例えば、ICAN国際運営委員の川崎哲氏の試算では、20年度の防衛予算のうち、戦闘機購入や護衛艦「いずも」の事実上の空母化など新規契約分の1兆1000億円をコロナ対策に向ければ、ICUベットを1万5000床と人工呼吸器2万台に加え、看護師7万人と医師1万人の給与に相当するといいます。コロナの影響を受けて、生活が脅かされている人々たちへの生活支援も緊急の課題です。

これまでのやり方にとらわれることなく、新しい考え方をもって、コロナで明らかになった問題を解決していくことで、国民の命と生活が守られると思います。

WBGTとは

●熱中症とは

熱中症は、高温で多湿な環境に長時間いることで脱水状態になり、体温がうまく調節できなくなり体に熱がこもる症状をいいます。水分や塩分が不足すると血の流れが悪くなり、めまいや立ちくらみが起きます。体温は、汗がかけなくなるとさらに上昇し、42度を超えると脳や肺、心臓などの細胞が壊れ始めます。脳や神経に記憶障害などの後遺症が残ったり、多臓器不全で死亡することもあります。

●「暑さ指数（WBGT）」

ただ、熱中症は適切に対処すれば防げます。目安になるのが「暑さ指数（WBGT）」です。熱中症は気温だけでなく、温度や日差しの強さ、風の弱さなどの複数の要因で発症者が増えます。「暑さ指数」は気温と湿度、日射や建物からの輻射熱を組み合わせた数値で、危険（31以上）、嚴重警戒（28～31）、警戒（25～28）、注意（21～25）、ほぼ安全（21まで）の5段階となっています（表を参照）。環境省は全国840地点の指数と予報をホームページで公開しています。

（暑さ指数HP

https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php）

●「熱中症警戒アラート」施行

熱中症の搬送者や死亡者数は、「暑さ指数」が28くらいから増え始め、30を超えると急増し、最高気温よりも実態と合っているとされます。環境省と気象庁は、今夏から33以上が予測される日には「熱中症警戒アラート」を出す方針で、最初に関東甲信地方から施行し、来年からは全国に広げるといことです。

●熱中症の予防

高齢者は重症化しやすく、熱中症による死者の8割を占めます。体の水分量が少なめで、暑さやのどの渇きに気づかないまま脱水症状に陥ることが多いといいます。また、体温調節の機能が未発達な子どもは、背が低いと地面の照り返しを受けて体温が上がりやすいといい、高齢者や子どもには周囲が気を配ることが大切です。

熱中症の予防としては、

※こまめに水分補給

一日に1.2ℓが目安。

起床時や入浴前後にも。

大量に汗をかいた時は塩分補給も。

※体力や体調を考慮

体調がすぐれない時は、熱い場所での活動

は控える

（次頁に続く）



暑さ指数（参考気温）

31以上(35℃以上)	危険	外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
28～31(31～35℃)	嚴重警戒	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意。激しい運動や持久走は中止。
25～28(28～31℃)	警戒	運動や激しい作業をする際は定期的に休息する。
21～25(24～28℃)	注意	激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。運動中は、水分、塩分を補給。

※暑さに備えた体作り
普段から30分程度の
ウォーキングなどで、
汗をかく習慣を身に
着ける



※「暑さ」を避ける

(室外) 日傘や帽子の活用。帽子は
時々はずして汗の蒸発を促す
(室内) 風通しを良くする。日射を遮
る。空調の活用

✂ 切り抜き帳 ✂

【原発事故処理 見逃せぬ不透明な流用】

東京電力・福島第一原発の事故処理
費用を、再生可能エネルギーや省エネ
などの財源から流用するという異例の
方針を安倍政権が決め、特別会計法の
改正案を国会に提出した。原子力政策
の失敗を、別の施策に使うはずのお金
で穴埋めするものである。エネルギー
対策特別会計でこうした目的外の使用
は例がない。

事故処理の費用は東電が負担するの
が基本だが、汚染土などの中間貯蔵事
業費は2014年度から国が肩代わり

している。

今後、さらに費用がかさんだとして
も、この勘定からの支出を増やし続け
るのは難しい。財源の電源開発促進税
は電気料金に上乗せされており、増税
すれば国民の反発が予想されるからだ。

求められるのは、原子力政策にかか
る費用を丁寧に説明し、だれがどう負
担すべきなのか、透明な議論すること
だ。その場しのぎでやり過ごしても、
国民の理解は得られないだろう。

(朝日新聞4月14日の社説から)

【会の活動報告】

6月20日(土) 運営スタッフ会議 土合公民館

8月22日(土) 学習会「沖縄から伝えたい。米軍基地の話。」土合公民館

運営スタッフ会議 土合公民館

【これからの予定】

9月13日(日) 学習会「テーマは未定」土合公民館

運営スタッフ会議 土合公民館

会員募集中！
カンパ大歓迎



桜区平和を考える会 ホームページ

- ・パソコンでは『桜区平和』で検索
- ・スマホでは右のQRコードから

<http://spa.g1.xrea.com/>

<http://spa.g1.xrea.com/smh/>



振込口座：ゆうちょ銀行

口座番号：00270-8-104990

加入者名：桜区平和を考える会

年会費：1,000円(カンパ大歓迎)

振込手数料はご負担ください

発行：桜区平和を考える会

(連絡先)

090-8588-4966 (今井)

090-4433-7092 (小高)

090-6120-3411 (佐藤)